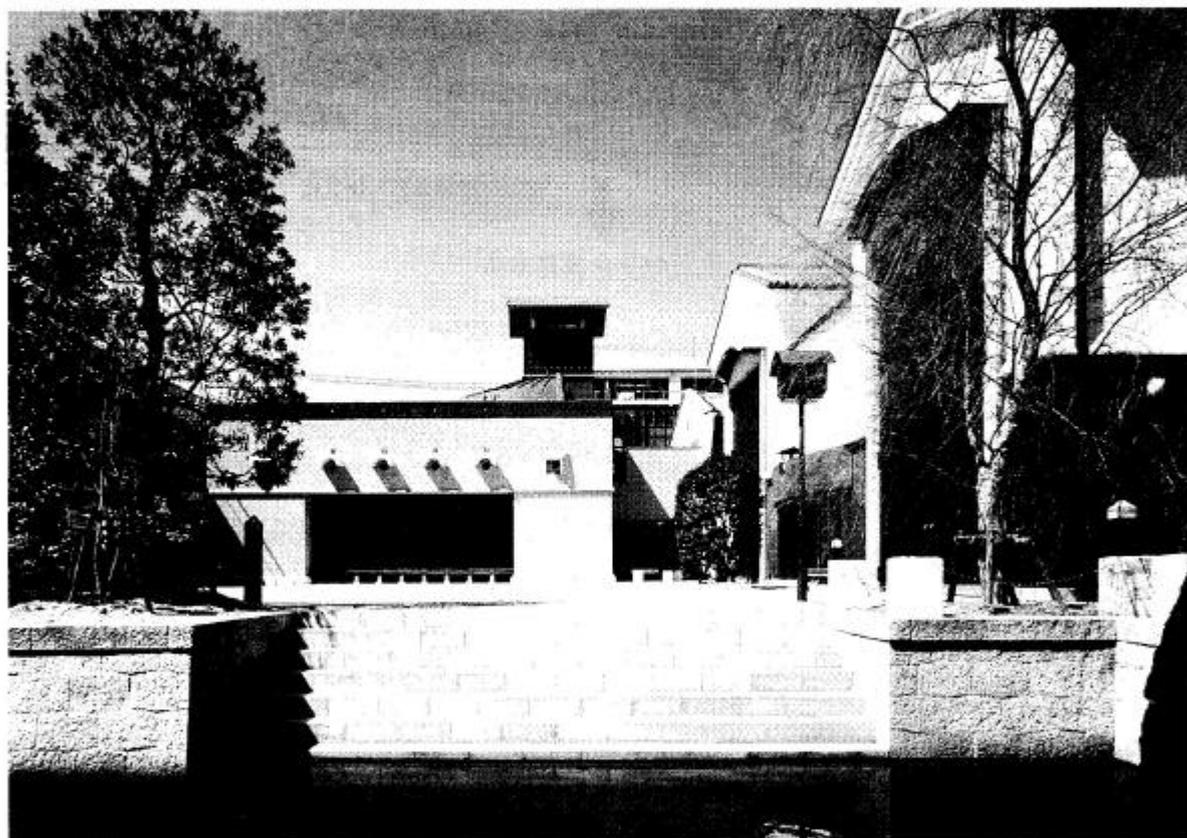


診 断 し が

2000年秋号

No. 7



夷山博物館（長浜市 10月1日オープン）

目 次

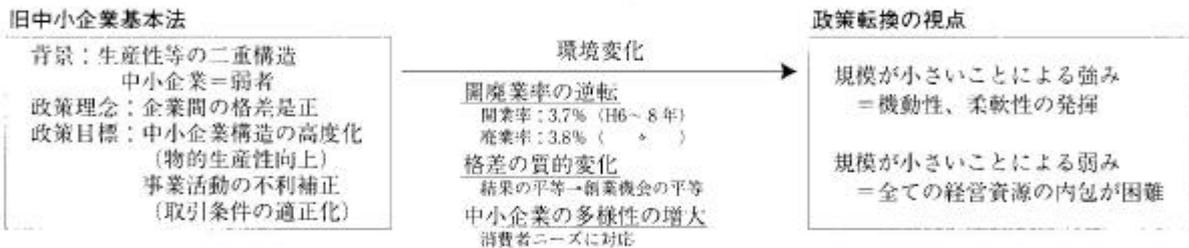
中小企業施策について	川口久隆.....	1
中小企業における研究開発	野瀬孝臣.....	2
FRPと浴槽生産ライン	池内敏恭.....	3
インターネットと情報の収集	伊倉駿二.....	4
会員紹介		5
お知らせ		6



中小企業施策について

滋賀県中小企業振興課 課長補佐 川口久隆

創業・ベンチャー・経営革新支援の考え方



↓
 底上げ的政策の一律実施
 →成長段階、活動に応じた施策への転換

改正中小企業基本法

中小企業に期待される役割

- | | |
|--------------------------|---------------------------|
| ①新たな産業の創出（新技術、新業態創出） | ②市場競争の促進（市場活性化、経済の新陳代謝促進） |
| ③就業機会の増大（企業家精神発揮、自己実現の場） | ④地域経済活性化（地域の産業・商業集積の中核） |

基本理念

～多様で活力ある独立した中小企業の育成～
 中小企業＝経済のダイナミズムの源泉

政策体系（主なもの）

- ・経営の革新・創業支援
 （意欲ある中小企業者の成長、経営革新や創業へ向けての自助努力を支援）
- ・経営基盤の強化
 （資金、人材、技術、情報等の経営資源へのアクセスの円滑化）
- ・経済的社会的環境変化への適応円滑化
 （セイフティネットの整備＝共済制度、倒産法制等）

創業・ベンチャー・経営革新支援の拠点整備



※中小企業の範囲

		製造業その他	卸売業	小売業	サービス業
新基本法の定義	(資本金)	3億円以下	1億円以下	5千万円以下	5千万円以下
	(従業員)	300人以下	100人以下	50人以下	100人以下
旧基本法の定義(参考)	(資本金)	1億円以下	3千万円以下	1千万円以下	
	(従業員)	300人以下	100人以下	50人以下	

出典：中小企業振興課



「中小企業における 研究開発」発表要旨

発表 平成12年8月26日 野瀬孝臣

グローバル化の進展で企業の生き残りのための競争が激しく進行している中、中小企業で製品研究・技術開発にたずさわる人達の活躍は、今後ますます重要となる。新分野への進出、新規事業の創出、異業種交流、経営規律・仕組みの変革を考えている中小企業の研究開発の進め方には、多面的なアプローチが必要である。そこで、筆者は経営者、管理者、研究開発担当の人たちの身近な言葉で「いろは48項目」を作成し、その中から今回下記7項目を選び、事例を挙げて論説した。

- 【1】「特許は係争ころえ取得」では、市場に入れた途端に先願特許に触れて事業が挫折した話、研究開発型を志向する企業では特許に疎いと機会損失だけでなく、大損するので注意が必要であると強調している。
- 【2】「ぬるま湯に浸かれば技術者死ぬ」では、研究開発の成果は、たずさわる技術者の資質によるところが大であるが、彼らの行動態様をヒューマンエラー（人間の過誤）における大脳生理学の立場から論じている。
- 【3】「お客様の満足が照準」では、顧客満足の構造を概説した。商品＝製品＋サービスとおき、顧客の要求・期待を、必須要求的期待、当然要求的期待、オープン要求的期待、切实希求的期待、熱烈希求的期待の5つに分類した上で、顧客満足度による判定を行う。顧客満足度の判別式 $DCS = k \times (s - e)$ で判定し、顧客満足商品開発につながりが必要としている。
- 【4】「四つのブロック分析戦略」では、技術革新

型中小企業となるために、先ず自社保有技術分析をし、次にコアコンピタンス技術分析をした上で、技術の将来性を見据えた技術戦略の進め方を、伝統的な中小企業と対比して説明している。

【5】「他社の良いプロセス参考にする」では、自社の経営革新を志向する企業は、ベンチマーキングとして、積極的に世界のベストプラクティスから学ぶ必要があり、アメリカの国家品質賞を受賞した中小企業テキサス・ネームプレートの成功事例を説明している。

【6】「意表をつく発想高い技から」では、思考の法則性を使ったモノ造りの考え方としてロシアで開発されたTRIZ（トゥリーズ）という方法を紹介している。

【7】「品質価値を極め向上」では、21世紀を目前にして、顧客要求が品質から品質価値へ変化してきつつある現実を確実に捉えた上で、顧客価値向上のための多数の接点を重視し、製品の新技术、新製品の開発やサービス技術開発が必要と訴えている。





FRPと浴槽生産ライン

池内敏恭

1. FRPの発展

S27年に不飽和ポリエステル樹脂が国内に導入され、FRPは新素材として急速に発展・成長してきた。中でも住宅資材での活用が顕著で市場の要求に対し、材料技術・成形技術・設計技術が相俟って成長してきた。

2. FRPとは

複合材料の一種で従来の工業材料が素材の特性に合った用途を開発するという受身的であったのに対し、複合材料は使用目的に合うように設計者が自由に設計でき、また単一材料では得ることの出来なかった特性を付与できるという特徴がある。

3. 浴槽需要の変化

近年、施工面での軽量化・乾式化、使用面での保温性（暖かみ）・ゆとり（くつろぎ）の要求より材質はステンレス製やホーロー製から樹脂製に、形状は和風から和洋折衷に、施工工法は在来工法からユニット工法へ需要が移ってきている。又、樹脂浴槽のなかでは、高質感（透明性）・重厚感（深み）・高品質・デザイン性の面で人造大理石調の浴槽の需要が増加してきている。

4. ノンゲル人大浴槽

種々の製法・材料の組合わせで数種の人大浴槽が市場に投入されている中で注入製法のノンゲル人大浴槽が品質面・コスト面のバランスがとれていると言われている。当工場においても旧来のゲ

ル付人大浴槽から下記機能UPを図り平成6年より採用している。

- ①外観品質の向上
- ②耐久性の向上
- ③耐クラック性の向上
- ④生産性の向上

5. 生産ラインの特徴

生産ラインは原材料を一定比率で攪拌混合する調合工程、形状を作る成形工程、穴あけ・トリミングする加工工程、検査・仕上・組立工程、梱包工程の5工程で設計されており1000～1500サイズ・9色の16品種約80品番の連続混合生産ラインである。

又全社の生産・販売・在庫統合システム(CIM)と連携するPΣによる短納期、工程管理システム(POP)による現物管理・製造条件の記録、クローズ・内部加熱方式の成形による3K排除を実現している。

6. 今後の課題

- ①地球規模で資源の有効活用が叫ばれている中でリサイクル技術の向上が必要。(現時点では、熱硬化性樹脂のリユースは困難とされている。)
- ②使用者機能の向上(防汚性の向上等)
- ③多様化に対応するための小ロット生産への生産技術の向上。



インターネットと 情報の収集

伊倉 駿二

■インターネットの普及

わが国のインターネットの利用が大変なスピードで伸びているという。欧米各国の普及率に比べればまだ低いといわれるが、昨年末の利用人口は2千7百万人にも及ぶとのことで大変な数である。インターネットはサービス内容を多方面に拡大しているが、最も基本的な機能であるWWWによる情報の受発信の充実ぶりには目を見張るものがある。

それらの中のほんの一例ではあるが、最近、急速に充実しつつある政府関係のホームページを見てみたい。

■政府のホームページの充実

例えば、先日沖縄サミットが開催されたが政府はホームページを開設して、参加国の紹介、首脳たちの経歴、サミットのテーマと過去の歴史などを掲載した。また、会議の進行につれ、写真やビデオを含むニュースを流したし、IT沖縄憲章やG8コミュニケなど公式文書の全文を即時、掲載した。

話が横道にそれるが、発表されたデータによれば参加国の一人あたりのGDPはわが国がダントツのトップで、それを1とすれば、アメリカは0.9、ドイツ、フランスは0.8、イギリスは0.7、イタリア、カナダは0.6、ロシアに至っては0.07である。従って、わが国がこの沖縄サミットに前回のケルンサミットの100倍にあたる800億円を掛け、途上国のIT格差解消に150億ドルを捻出するのは分かるとしても、沖縄の基地問題に一言も発言することが出来ず、かえって景気対策の継続に努力しよう注文されたのは、全く情けない限りであった。

先ごろそごう百貨店の再建をめぐって金融再生

委員会は970億円の債権を棚上げする案を決定して議論を呼んだが、金融再生委員会のメンバーとはどんな人なのか知りたいと思った人も多かったと思う。その場合、政府のホームページをたどることで直ちに知ることが出来た。

政府は実に多くの審議会を持っているがその審議内容について今はかなり詳しいところまで知ることが出来る。昨年6月、中小企業診断士のあり方について中小企業審議会の中に「ソフトな経営資源に関する小委員会」が設置され、今年6月まで7回の審議が行われた。そしてこの6月に「新しい中小企業診断士制度」という答申書がまとめられたが、それらの経過は逐一ホームページに発表され答申書も全文が掲載された。それは診断士の商業、工鉱業、情報の区分をなくし、知識の拡大を求めて、試験内容を大幅に変えることを提案したものであった。

■閲覧時の注意

ホームページを閲覧するとき注意すべきことがある。まず、製作者が誰であるかを考えながら閲覧しなければならない。ホームページの匿名性に寄りかかり無責任な記事を書くものが目に付く。

次に、ホームページがいつ制作したものかということである。作られたまま、長い年月メンテナンスせずに放置されているものがある。年の表記がないと今年のことか昨年のことか不明な場合がある。

また、当然問題になるのがセキュリティーである。情報の入手にアドレスの入力を必要とするものがあるが、そのため不要なメールが届いたりすることがある。また有料な情報は多いが、その場合、クレジットカードのナンバーを知らせなければならないので十分な注意が必要である。

会 員 紹 介

紹介内容 ①名前 ②生年月日 ③勤務先 ④登録部門 ⑤初年度登録 ⑥自己PR ⑦他公的資格名

 <p>①苗村 昇 ②S12.1.3 生 ③滋賀女子短期大学 ④工鉱業 ⑤H1年</p> <p>⑥年金問題についてさらに勉強していき度いと思っています。 ⑦社会保険労務士 年金コンサルタント</p>	 <p>①西沢 一男 ②S11.4.9 生 ③ナイン・ワン・フォー（自営） ④工鉱業 ⑤S49年</p> <p>⑥現在は、月に数日守山のIM社で、ISO/9001:2000「品質マネジメントシステムの構築」の支援をしています。先日(6月)予備審査がありました。本審査までには、まだ4~5ヶ月はかかりそうです。私のISO支援は6件目ですが、今回の2000年改訂版は、「経営者の責任」のウエートが高まっているため、診断士の視点が大きい役立っています。他に、TE社創業支援も行っています。</p>	 <p>①布目 駿吉 ②S18.11.2 生 ③草津電機㈱ ④工鉱業 ⑤S53年</p> <p>⑥社有地の有効活用のため8月10日に南草津の国道1号線沿いにスーパー銭湯「極楽湯」を開店し、その経営にあたっております。地域の皆様に幅広くご愛顧いただける温浴施設をめざし精一杯のサービスに努める所存であります。</p>
 <p>①野上 容一 ②S26.3.25 生 ③タカタ㈱ ④工鉱業 ⑤H54年</p>	<p>①野崎 和弘 ②S27.10.21 生 ③㈱滋賀銀行 ④工鉱業 ⑤H1年</p>	 <p>①野瀬 孝臣 ②S10.5.11 生 ③野瀬経営コンサルタント事務所(自営) ④工鉱業 ⑤S54年</p> <p>⑥37年間の会社員生活で得た実務経験(事業企画、工場建設、生産、技術導入、新製品研究開発、品質保証、協力会社のQC、VE、IE支援)を活かして、最近の企業振興の事例と、ISO9000マネジメント思考を取り入れた中小企業支援を心掛けています。 ⑦JRCA品質システム審査員</p>
<p>①波田 晋一 ②S39.10.22 生 ③㈱滋賀銀行 ④工鉱業 ⑤H11年</p>	 <p>①橋本喜一郎 ②S20.3.28 生 ③橋本経営労務事務所 ④商業 ⑤S62年</p> <p>⑥繁栄のためのお手伝いをモットーに淀川最源流の地を拠点に活動しています。 ⑦社会保険労務士 行政書士 販売士1級</p>	 <p>①八田 昇 ②S2.9.9 生 ③自営 ④工鉱業 ⑤S33年</p> <p>⑥県に企業診断制度が創設されてより工場・商店診断を始め繊維・パルプ・窯業・薬業の各産地診断、各地の商店街診断、集団化診断に従事。その関係もあって平成5年より、「ギャラ激安」「いつでも往診出講可」「勤告事項、講義内容は人畜無害」をセールスポイントに細はそと自営</p>

お知らせ

① 新入会員紹介



① 榑田 忠夫
② S29.3.16 生
③ 榑市原商店
④ 情報部門
⑤ H11年

⑥ 人事・総務・経理業務に就いています。パソコンを使って、販売管理、給与計算をパッケージソフトで処理する他、エクセル等の表計算ソフトを使って業務上発生する各種資料等を作成しています。(労働保険料計算、算定基礎、年末調整、退職金計算、昇給、経費一覧表、等)最近ホームページを作成・更新しています。



① 藤 縄 逸朗
② S16.2.24 生
③ 藤イシダ・エム・エス・
テー イシダ バランギ
④ 工 鉱 業
⑤ H12年

⑥ 製造業・精密機械(計量機)製造、販売35年。韓国合弁会社を工場長で設立、駐在4年「ものづくり」の現場の中で泥くさい3S、現場改善を経験。経営診断・経営戦略・経営計画の支援と生産管理・資材・購買・外注管理等の多少のお手伝いができる新米です。中国・アメリカ大陸等の貧乏放浪癖のある不良中年(?)です。



① 山本 治 広
② S39.11.17 生
③ 谷口会計事務所
④ 商業
⑤ H12年

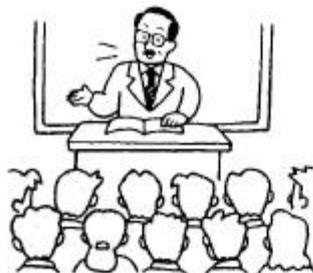
⑥ 本年度新規登録しました。草津市を拠点に中小企業の税務・会計のサポートをしています。

② 平成12年度登録研修実行委員会

日時 平成12年8月4日(金)
場所 大津市ふれあいプラザ会議室
内容 更新研修の日程・内容等について

③ 支部研修開催(シガネット共催)

日時 平成12年8月26日(土)
場所 プエルタ大津会議室
内容 1) 中小企業の研究開発
野瀬孝臣会員
2) 中小企業施策について
滋賀県中小企業振興課
課長補佐 川口久隆氏



④ シガネット第三回総会

日時 平成12年8月26日(土)
場所 プエルタ大津会議室
内容 1) 平成11年度事業・決算報告
2) 平成12年度事業・収支計画
3) 役員改選
4) その他



〔シガネット新役員決定〕

代表幹事 小川詔宣
幹 事 松田智之(事務局)
幹 事 野瀬孝臣(会計)
幹 事 池内敏恭
幹 事 鐘井 輝
幹 事 北村和一



REGISTERED
MANAGEMENT
CONSULTANT

本会は、中小企業診断士相互の連携を緊密にし、資質の向上に努めるとともに、中小企業の振興と国民経済の健全な発展に寄与することを目的としています。

原稿募集案内

本誌の送付対象者は、支部会員の他、県・市町村等の関係諸機関、団体にも配布の予定ですので、会員各位の積極的な投稿と情報提供をよろしくお願い申し上げます。

●原稿内容

調査・研究・講演・県内情報および会員個人の趣味・旅行記などをお願いします。

●原稿作成要領

横書き 1,400字程度 一行20字

会員名・登録部門・初登録年度

顔写真同封（後日返却します）

●原稿締切り

平成13年2月末日（第8号4月1日発行予定）

●原稿送付先

〒520-2313 野洲郡野洲町大篠原1950

竹村 義治

TEL/FAX (077)587-0589

●編集後記

本年度の中小企業診断士一次試験の申込者数は、11,925名で過去最高の申込者数と発表されました。昨今の資格取得ブームならびに中小企業基本法等の改正に伴い試験内容の変更予定の情報等もあいまって多くの申込者となっているようです。中小企業支援法の成立により今後期待される中小企業診断士の役割として①専門的かつ実践的な助言②専門家・専門機関の斡旋・紹介③中小企業施策の活用支援等の幅広い知識・能力が求められることとなります。

診断しが

No.7

〈2000年秋号〉

2000年10月1日発行

〈発行所〉

社団法人 中小企業診断協会
滋賀県支部

〒520-3232 滋賀県甲賀郡甲西町大字平松104番地の20
エクセル甲西3階（JR甲西駅前）
TEL (0748) 72-5173
FAX (0748) 72-5330

ホームページ：
<http://www.jade.dti.ne.jp/jsmeca25/index.htm>
Eメール：
jsmeca25@jade.dti.ne.jp